

広報 こおり

8

Aug.2022
vol.632

桑折ごはんは、
ひと味違う！



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち

町産食材活用学校給食提供事業

町の方針

醸芳保育所の機能を「幼保連携型認定こども園」開園時に完全移行

- 「醸芳幼稚園」は存続
- 町独自の子育て支援策の継続
(保育料軽減や幼稚園給食費の無償化、制服支給など)

町と認定こども園との連携・協力

- 待機児童ゼロの維持
- 幼児保育・教育の質向上
- 小学校への円滑な接続

令和6年4月開園

多様化する保育ニーズに合った幼児保育・教育の質向上のために 「幼保連携型認定こども園」開園予定

町の中心部に位置する福島蚕糸跡地に、令和6年4月、幼保連携型認定こども園が開園予定。これまで9回にわたり、保護者や地域住民の皆さんに対し、説明会を実施してきました。今回は、その内容を改めて町民の皆さんにお知らせします。

幼保連携型 認定こども園って何？

幼保連携型とは、幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能を併せ持つ単一の施設を指します。

認定こども園とは、幼稚園、保育所などのうち「就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能」「地域における子育て支援を行う機能」を備え、県が条例で定める認定基準を満たし、県知事から認定を受けた施設です。幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持ちます。

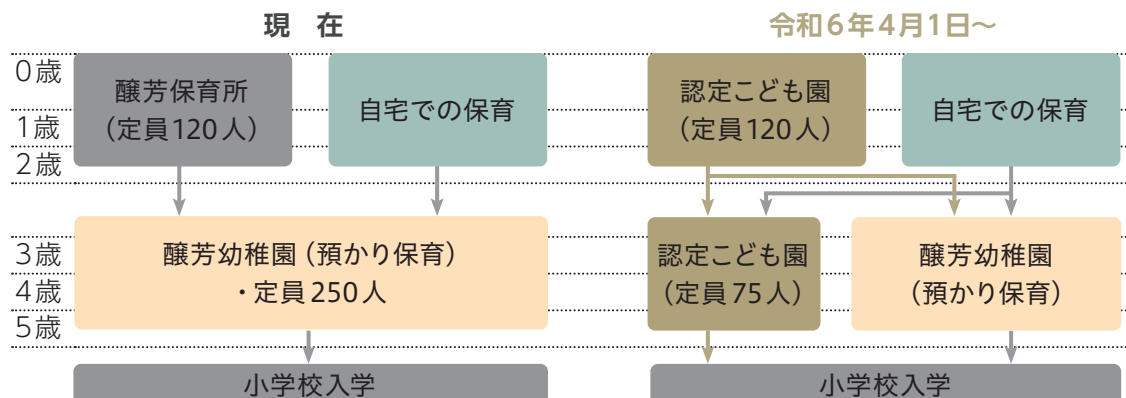
醸芳保育所・幼稚園は どうなる？

保育所機能を認定こども園に完全移行するため、醸芳保育所は、



中庭のイメージ

認定こども園開園に合わせて閉所します。
醸芳幼稚園は、認定こども園開園後も存続するため、3歳からは、認定こども園または醸芳幼稚園のどちらかを選択できるようになります（定員あり※）。また、醸芳幼稚園では、認定こども園に入園しない子どもについて全て受け入れます。



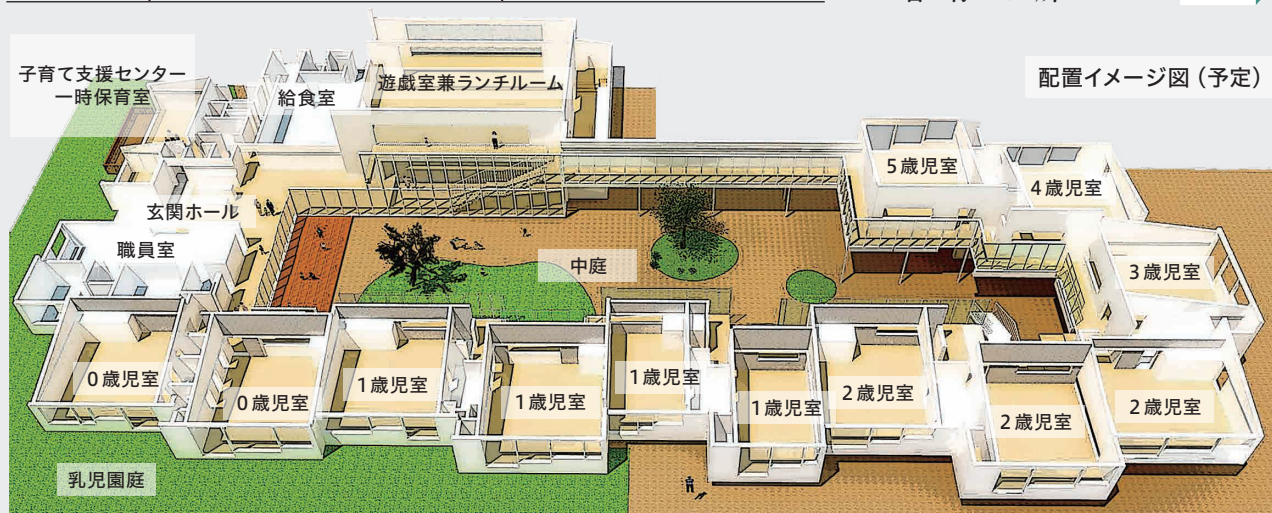
小学校入学までの流れ

どんな建物になるの？

新設される認定こども園は「こおり醸芳こども園（仮称）」とし、敷地面積と建物面積は醸芳保育所の約2倍の広さで、木造2階建てです。健康な体と豊かな感性が育めるよう、自然を感じられる園舎となる予定です。

	現 在	令和6年4月1日～
名 称	醸芳保育所	こおり醸芳こども園（仮称）
敷地面積	2,585.94㎡	約5,445.38㎡
建物面積	802.6㎡	1,809.52㎡
建築年月日	昭和56年1月	令和6年2月（予定）
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建て	木造2階建て

配置イメージ図（予定）



保育内容などは変わるの？

詳しくはこちら▶



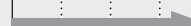
	現 在	令和6年4月1日～
保育料 など	醸芳保育所…町条例に基づく 醸芳幼稚園…町条例により無料	認定こども園…変更なし 醸芳幼稚園…変更なし
定員	醸芳保育所…120人 醸芳幼稚園…250人	認定こども園…195人（0～2歳 120人 / 3～5歳 75人※） 醸芳幼稚園…認定こども園に入園しない子ども全て
保育 時間	醸芳保育所…7:30～19:00	認定こども園 0～2歳 7:00～19:00 3～5歳 保育を必要とする人 7:00～19:00 保育を必要としない人 8:30～13:00

※3～5歳 75人のうち、15人は保育を必要としない人。60人は保育を必要とする人で、定員を上回る希望があった場合、0～2歳入園児の兄弟姉妹を優先します。

今後の動きは？

認定こども園では、定員数や保育時間などに違いがありますが、保育料は町が条例に基づき決定するため変更ありません。また、保育料軽減などの町独自の支援も変更ありません。加えて、在宅児の一時保育を新たに実施します。

開園に向けて、建築工事を進めながら、募集説明会などを実施します。これからも「心身ともに健全な桑折っ子の育成」に努め、多様な保育ニーズに合った幼児保育・教育の質向上を目指していきます。

年月	R4	R5					R6		
項目	12	4	10	11	12	1	2	3	
建築工事									
許認可申請									
園児募集									
施設見学会									

「献上桃の郷」の夏が来た 高品質な桃を全国へ



▲たわわに実り収穫時期を迎える「献上桃の郷」の桃

「献上桃の郷」の夏が今年も始まりました。6月下旬ごろから9月中旬ごろまで、数十種類もの品種の桃が生産、出荷される桑折町。町内の選果場に集荷された桃は、光センサーを通り、糖度や大きさなどを測定し、一定の品質をクリアした後、全国へ出荷されます。併設の直売所は、採れたての桃を買い求める人たちで、連日にぎわいを見せています。



1 献上桃のパルフェ 2 ピーチメルバ 3 桃のかき氷

町では、高品質な桃を、より多くの人に楽しんでもらおうと、7月22日から8月15日まで、仙台市の勾当台公園内にある「Route 227's Cafe TOHOKU」で、町産桃を使ったオリジナルスイーツを提供しています。見て楽しく、食べておいしい、「献上桃の郷」の桃の魅力を、県内外の人に届けています。



▲丹精込めて育てられた野菜たちは収穫時期を迎えました

市民農園「こおり25☺ファーム」 2年目の夏を迎えて

昨春に始まった、市民農園「こおり25☺(ニコニコ)ファーム」。普段土に触れることのない生活をしている人が気軽に農業を楽しんだり、就農を考えている人が勉強のために始めたりと、現在9組の家族や団体が参加しています。

「農園を利用して今年で2年目となりました。野菜作りは失敗ばかりですが、その分、収穫の喜びが大きいです。ここで出会った人

たちと会話すること、皆さんの畑や半田山を眺めて、のんびりすることも楽しいです」と話す利用者。

参加者同士で交流ができるのも、市民農園の良いところ。栽培方法を教え合ったり、世間話をしたり、地域の人たちと知り合えるきっかけの場にもなります。さまざまな楽しみ方ができる市民農園を、あなたも利用してみませんか。

CHECK

市民農園利用者募集

場所 下郡字街道南

料金 1区画25㎡あたり 年間3,000円

対象 町在住・在勤、移住を検討している人

・利用期間は翌年3月31日まで(更新可)

・利用者自身で耕作管理(苗・種・肥料など)もご用意ください)

・栽培相談員が相談に乗ります!

圃産業振興課 ☎582-2126



1 町自慢の食材を味わう児童



2 町産食材をふんだんに活用

町内の幼稚園、小中学校では7月12日、町産の食材をふんだんに活用した給食が提供されました。給食を通して、幼少期から町産の食材と触れ合い、町の「おいしい」味わいを知ってもらい、郷土愛を育むために企画されました。半田醸芳小学校5年生の教室を訪れた高橋宣博町長は、食材の魅力を紹介しながら、児童らと楽しい給食の時間を過ごしました。

町自慢の食材を活用 給食で育む郷土愛

献立

- ご飯（町産コシヒカリ）
- 牛乳
- ロイヤルピーチポークのみそ焼き
 - ・ 豚（しまぎ牧場）
 - ・ みそ（安齋醸造）
 - ・ しょうゆ（キッコーゲン醤油）
 - ・ 桃ジュース（あいはら果樹園）
- きゅうりのサラダ
 - ・ きゅうり（佐藤春雄さん）
 - ・ もやし、コーン、海藻
- 桑折っ子汁
 - ・ みそ（安齋醸造・JA加工部会）
 - ・ じゃがいも（今井辰芳さん）
 - ・ たまねぎ（佐藤カツヨさん）
 - ・ いんげん
 - ・ 油揚げ
- 桃ゼリー（県内産桃果汁使用）

さまざまなおいしい食材がそろった桑折町。生産者の皆さんが育てた新鮮な食材を味わい、もっと地元を好きになって欲しいという思いで献立を立てました。食事は、心豊かな暮らしにつながります。日々食べることを大切にしてほしいです。

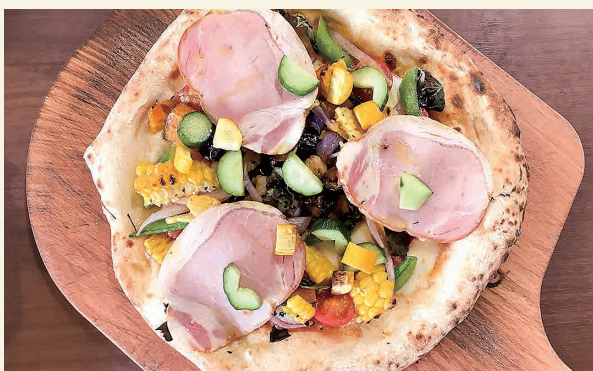
栄養教諭
江口梨絵さん



▲学んできたことや開発にかけた思いなどを発表

伊達崎小学校5年生の児童らが考案したオリジナルピザのお披露目会が7月15日、ピザスタで開かれました。昨年度から、総合学習の一環として、農作物の栽培体験や、「レガールこおり」の取り組みについて学習を重ねてきました。その中で「町の特産品を多くの人に食べてほしい」という思いが高まり、ピザスタ協力のもと、オリジナル

伊達崎小学校×ピザスタ オリジナルピザ開発



▲8月9日から予約限定販売が始まります

ピザの開発が進められてきました。完成したピザは「元気！ベジタブル伊達崎ピザ」と命名。ロイヤルピーチポークや夏野菜など、町産の食材をふんだんに使用したピザに仕上がりました。8月9日から予約限定販売が始まります。ここでしか味わえない、桑折町の「おいしい」と、児童の思いが詰まったピザをぜひご賞味ください。



1



2

1・2 健康長寿で元気な町を目指すため、何ができるのか、活発に意見を交わすメンバーたち

健康長寿で元気な町へ こおり健康楽会ワーキング会議

「健康長寿で元気なまち」に向け、効果的に健康づくり事業を展開するため、「こおり健康楽会ワーキング会議」が7月1日、役場で開かれました。

こおり健康楽会は、5月23日に、町の健康事業の今後の展開について話し合う本会議を実施。今回はより具体的な施策などの検討を行うため、薬剤師や野菜ソムリエ、大学生な

ど、13人のワーキングメンバーが参集。「減塩」「歯・口腔」「運動」「まちづくり」など、子どもから高齢者までの健康づくりについて、地産地消や男女共同参画、高齢者福祉、SDGsなどの視点から多くの意見が出されました。

今後、ワーキング会議メンバーとともに、こおり健康楽会事業を展開していきます。

認知症サポーター養成講座 地域で見守ろう「認知症」

町地域包括支援センターによる、醸芳小学校5年生を対象とした「認知症サポーター養成講座」が7月4日、同校で行われました。

講座では、認知症の症状などを学び、「こんな時はどう声をかける？」などとグループで話し合

いながら理解を深めました。講座の最後には、サポーターの証であるオレンジリングなどが配られ、「キッズサポーター」となった児童たち。「認知症は脳の病気だと分かった」「見かけたらやさしく接したい」との感想が聞かれました。



▶オレンジリングを掲げ「キッズサポーター」となった5年生



▶教育長の言葉で、気持ちを引き締まる中学3年生

桑折学習塾スタート コツを覚えて楽しく勉強

中学生を対象とした桑折学習塾の開講式が6月25日（3年生）と7月2日（1・2年生）に、イコーゼで行われました。

「勉強のコツが分かって良かった！」と毎年好評の本塾。1・2年生は、教育委員会の指導主事や教員OB、福島大学の学

生ボランティアから、学習習慣づくりと学習意欲向上を学びます。3年生は、福島市の進学塾「名城塾」の講師を迎え、数学と英語を学び、受験対策に臨みます。

■参加者随時受付中！
■図教育文化課

58212403

災害時における通信復旧を強化 NTT東日本福島支店と協定

町は、東日本電信電話株式会社福島支店と6月30日、役場で「災害時における通信復旧等の協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害により大規模な通信障害などが発生した場合に、両者が緊密に連携し、情報の

共有や復旧作業への協力を行い、避難所などへの特設公衆電話の設置など、通信設備の速やかな復旧を図ることを目的としています。

町では、引き続き、安全・安心なまちづくりに向け、取り組みを強化していきます。



（左から）協定書を手にする高橋町長、佐藤正紀理事長

災害時の要配慮者の安全を確保 あつかし荘を福祉避難所に

町は、社会福祉法人信達福祉会と「福祉避難所の設置運営に関する協定」を7月12日、役場で締結しました。

この協定は、災害発生時、特に配慮を要する人の避難にあたり、特別養護老人ホーム「あつかし荘」を福祉避難所として

利用するため、両者における連絡調整および費用負担などを協力することにより、避難者の安全と良好な避難生活を確保することを目的としています。

町では、引き続き、危機管理体制の取り組みを強化していきます。



（左から）協定書を手にする高橋宣博町長、島山良平支店長

長年にわたり消防活動に尽力 春の叙勲「瑞宝単光章」受章

令和4年春の叙勲で「瑞宝単光章」を受章された、元町消防団長の佐藤富博さんの表彰伝達式が6月23日、役場で行われました。式では、県北地方振興局の石本仁局長から表彰を伝達され、長年の活動に感謝の意を表されました。

佐藤さんは、昭和58年から36年間、町消防団で町民の生命、財産を守るべく、消防・防

災活動に多大に貢献しました。

高橋町長は、「消防・防災活動に尽力いただき感謝している。町も、消防・防災の強化や生活安全対策の推進に取り組む、みんなが安全・安心に暮らせるまちをともに創るため、危機管理体制の強化に努める。引き続き、ご協力をお願いしたい」とその功績をたたえました。



1（左から）石本局長、佐藤さん、高橋町長 2 表彰の伝達を受ける佐藤さん

若 桑折シェアオフィス「Hatch」オープン 手事業者の創業を支援

桑折まちづくりネットは6月17日、桑折シェアオフィス「Hatch（ハッチ）」の開所式を行いました。

これまで同団体が空家相談所として活用していた建物の空き部屋を改修し、シェアオフィス3室、コワーキングスペース、共有スペース各1室を新たに備え、さまざまな働き方や創業者の準備をする場所として利用できる施設に生まれ変わりました。

同団体の藤倉伸祥代表は、「これまでの空家相談に加え、若手事業者の創業支援で活気を取り戻したい」と期待を込めました。



▲古屋の和の趣を活かしたコワーキングスペース



▲「愛情がこもった農産物を、心を込めてPRしていきたい」と話すミスピーチ

桃 ミスピーチ来庁 の魅力を全国へ発信

今年で60代目となる「2022 ミスピーチキャンペーンクルー」が7月7日、役場を訪れ、町長や職員に活動の抱負を述べました。

ミスピーチは10人からなり、「くだもの王国ふくしま」の魅力を発信するため、県内をはじめ日本国内外で、果物の販売促進や消費宣伝PR活動を行います。高橋町長は「60代続くミスピーチのこれまでのご活躍に感謝している。本町もいよいよ桃の出荷時期を迎え、8月1日には献上桃の選果式も行われる。品質の高い桑折町の桃、福島のを、全国各地へPRしていただきたい」と激励しました。

子 リトルオリーブこども基金「まごころ直送便」 子どもたちに野菜や果物をプレゼント

被災地の子どもたちへ支援をう「リトルオリーブ子ども基金」のスタッフ8人が6月18日、児童館を訪れ、児童らへ「まごころ直送便」を贈りました。

「まごころ直送便」とは、新鮮な野菜や米、果物などを、農家から直接仕入れ、子どもたちへ届ける事業で、昨年に引き続き桑折町の子どもたちへ贈られました。この日は、かぼちゃやきゅうり、すいか、りんごなどが贈られたほか、外国人のスタッフがそれぞれの英語の発音を教えるなど、子どもたちとの交流も図りました。



▲箱いっぱい詰められた新鮮野菜や果物を受け取り、感謝を述べる児童



▲（左から）母・幕田香里さん、里音さん、高橋幸子会長

自 ヘアドネーション感謝状贈呈 分の髪を、誰かのために

桑折ライオンズクラブは6月15日、病気やけがで髪を失った子どもたちの医療用ウィッグ（かつら）を作るために、髪の毛を寄附する「ヘアドネーション」の活動に参加した幕田里音さん（伊達崎小6年）へ、感謝状を贈呈しました。

幕田さんは、学校の友達が同活動へ参加していることを知り、自分も参加してみたいと、1年生から伸ばし続けてきた髪を40cmほど切りました。幕田さんは「このように表彰していただきうれしい。髪が伸びたらまた寄附したい」と話しました。

花 道路環境美化活動 で町に彩りを

毎年、花いっぱいの町並みを目指して取り組んでいる花植え活動。今年は6月5日から26日にかけて、北沢町内会や下郡鶴亀会など9団体が参加しました。色鮮やかなマリーゴールドやペゴニアなどを道路沿いの花壇に植えました。

参加者は「仲間たちと一緒に活動できるのは楽しい。沿道に咲く色とりどりの花たちを見て、道行く人が笑顔になってくれればうれしい」と話しました。

1 北沢町内会 2 下郡鶴亀会 3 桑折創生婦人会 4 谷地シニアクラブ 5 日赤奉仕団 6 道林花壇 7 追分長寿会 8 上郡鶴亀会 9 荒屋敷婦人会（敬称略、実施順）
皆さんのおかげで町中が花いっぱい



地域を守る 消防団員募集

町の安全を守り
安心して暮らせる生活のために――

興味のある人は下記までお問い合わせください。

生活環境課 危機管理係 ☎582-2123



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

桑折町は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

桑折町
LINE
@kooritown

スマホに町からの情報が届く！

お友達
募集中



問総合政策課 広報広聴係 ☎582-2115



今年も特定健康診査が始まります

第29回

健診で防ぐ生活習慣病

心臓病、脳卒中など、食生活や運動、喫煙・飲酒などの生活習慣が要因でなる疾病を指す生活習慣病。感染症の重症化リスクも高めると言われている今、健診で自分の健康を見つめ直しましょう。

特定健康診査とは

生活習慣病の予防のために、対象者（40歳～74歳）にメタボリックシンドロームに着目した健診を行います。また、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣改善による生活習慣病の予防効果が高く期待される人に対しては、専門スタッフ（保健師・管理栄養士など）が生活習慣を見直すサポート（特定保健指導）を行います。

生活習慣病の予防

生活習慣病予防のためには、バランスのよい食事・運動習慣・禁煙・適度な飲酒・ストレス解消などがあります。どれも生活の中で出来ることです。その他、定期的に健診を受

診することで、日ごろの生活習慣が体に悪い影響を与えていないか、体の状態を確認することができます。

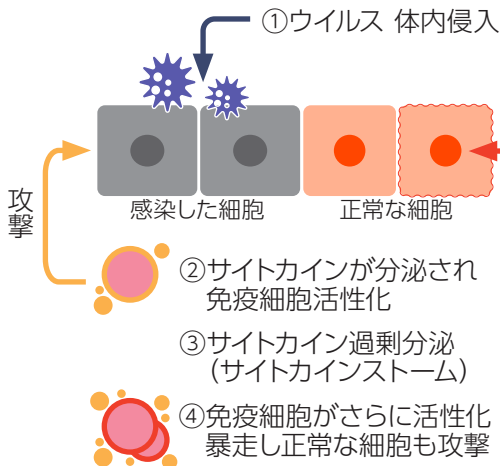
感染症を重症化しやすい生活習慣病

いまだに終息する気配のない新型コロナウイルス感染症。町でも4回目ワクチン接種が開始されていますが、対象者には「基礎疾患を有する人」も含まれています。基礎疾患の項目を見ると、生活習慣病も多く含まれることが分かります。

近年、基礎疾患のある人は、ない人に比べて感染後に重症化しやすいことが分かっています。では、なぜ重症化しやすいのか、皆さんは重症化に至るメカニズムを知っていますか。

免疫機能の暴走が重症化を招く

基礎疾患がある人は、感染後に重症化しやすいことが分かっています。そのメカニズムは「サイトカイン」の働きが関係しています。サイトカインは感染症などをきっかけに免疫系細胞から分泌されるタンパク質です。本来、ウイルスなどから体を守るために分泌されますが、その分泌量が制御不能となり、過剰に放出され続けると、最終的には自分の細胞を傷つけてしまい、重篤な肺炎などの重症化に至ります。この状態を「サイトカインストーム」（＝免疫機能の暴走）と言います。



広 告

どのような人になりやすい？

サイトカインーストームになりやすい人については、さまざまな見解があります。未だ全容は解明されていませんが、**国内外における新型コロナウイルスによる死亡者の多くは、肥満症や糖尿病、高血圧などの基礎疾患を抱えています。**欧米や中国の報告では、肥満者が普通体重者に比べて、ICU入室の割合が多く、死亡率が高いことも明らかになっています。特に**内臓脂肪蓄積型の肥満は、さまざまな生活習慣病を引き起こすだけでなく、サイトカインを分泌しやすいため、免疫反応の低下が起これやすいと言われています。**そこで、メタボリックシンドロームの予防が重要となります。

新型コロナウイルス感染症が流行したことにより、「重症化」という言葉が身近になりました。サイトカインーストームのメカニズムは、新型コロナウイルス感染症に限らず、どの感染症にも起こり得ます。免疫細胞が適切に活動できるように、生活習慣を整えて身体を健康に保つためにも、定期的に健診を受けて、自分の体を確認することが大切です。

完全予約制 年に一度の健康チェック

日程	
9月21日(水)	10月1日(土)
9月22日(木)	10月3日(月)
9月26日(月)	10月4日(火)
9月29日(木)	10月5日(水)
9月30日(金)	10月6日(木)
	10月7日(金)
	10月8日(土)

今年度の特定健康診査を含む各種健診は、9月21日から10月8日までの12日間、保健福祉センターやすらぎ園で実施します。予約の詳細は、8月下旬に郵送する受診録に同封するお知らせをご覧ください。

詳しくはこちら▶



期間
9月21日～10月8日



新しい生活様式における熱中症予防

今夏は、新型コロナ感染症とともに熱中症も予防しなければなりません。マスクをつけていることで、体内に熱がこもりやすくなり、また、喉の渇きを感じづらくなるので、熱中症となる危険性が高まります。体調不良を感じたら、我慢せずに救急車を呼ぶことも大切です。

熱中症とは

体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温の調節機能が働かなくなったり、体温の上昇やめまい、けいれん、頭痛など、さまざまな症状を起こす病気です。

☑ こまめな水分補給

- のどが渇く前に水分補給
- 食事以外に、1日あたり1.2ℓの水分摂取が目安
- 運動、作業を行った時、多くの汗をかいた時は塩分も補給

☑ 暑さを避ける

- 暑い日は活動を控える
- 涼しい服装や日傘を活用
- エアコンを使用し、換気の際もつけたままで！
- 屋外で人と十分な距離(2m以上)がとれるときは、マスクを外す

☑ 日ごろの体調管理

日頃の体温測定、健康チェックは新型コロナウイルス感染症だけでなく、熱中症を予防する上でも有効です。

むし歯のない子、増えています！

3歳児健診で、むし歯のなかったお子さんの写真を掲載しています。以前町では、3歳児健診の時にすでにむし歯になっているお子さんが多くいました。そこで、歯科医と保健師、保護者が連携し、どうにか虫歯を減らそうと考え出された一つの方法が、広報紙への写真掲載でした。今では、むし歯のないお子さんが増え、たくさんの子どもたちの笑顔を、広報紙に載せられるようになりました。

歯は生涯のパートナー

歯は、生涯必要となるパートナーです。むし歯は、自然治癒ができないため、放置すればするほど悪くなる病気です。毎食後の歯磨きや、ぶくぶくうがいなどをしっかりと行い、むし歯にならないように気をつけましょう。

NEWS

むし歯予防 について



子育てアドバイス



Information

vol.7

むし歯のない子

3歳児健診で、むし歯のなかったお子さんを紹介します。



たいせい
阿部 大誠くん



あきと
石幡 明希斗くん



あきと
松野 晃都くん



さやか
青野 彩花ちゃん



そら
星野 希空くん



かいせい
幕田 檢生くん



ゆうま
海老名 悠磨くん



ぎんじろう
伊藤 銀次朗くん



るい
松本 琉愛くん



まゆ
高橋 真由ちゃん



そうた
樋口 創太くん



そう
三村 宗生くん



にあ
鈴木 仁彩ちゃん



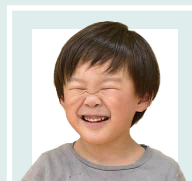
とうま
氏家 澄真くん



あゆむ
南澤 あゆむくん



ゆりな
須田 侑莉愛ちゃん



ゆうせい
浅野 侑晴くん



かほ
長澤 佳穂ちゃん

8/3	WED	広報8月号、お知らせ版 成人講座「アンガーマネジメント」	★
4	THU	10・11 か月児健診 (R3年8・9月生)	♡
5	FRI		★◆
6	SAT		
7	SUN	キッズスクール ◎武田小児科 ☎575-2439	
8	MON		♡
9	TUE		◆
10	WED	健康相談日	★
11	THU	◎すずき医院 ☎575-2563	
12	FRI		◆
13	SAT		
14	SUN	◎伊達セントラルクリニック ☎575-3215	
15	MON		
16	TUE		
17	WED		
18	THU		♡
19	FRI		★◆
20	SAT		
21	SUN	◎なかのクリニック ☎575-2246	
22	MON	小・中学校第2学期始業式、献血 成人講座「タブレット講座Ⅱ」①	♡◆
23	TUE	ホールボディカウンタ測定日	
24	WED		★
25	THU	幼稚園第2学期始業式	◆
26	FRI	成人講座「マリンバコンサート」	◆◆
27	SAT	桑折学習塾	
28	SUN	◎ほばらクリニック ☎574-2522	◆
29	MON	成人講座「タブレット講座Ⅱ」②	♡
30	TUE	すくすくカフェ「ママトーク」	
31	WED	成人講座「自筆証書遺言書保管制度」 (桑折公民館)	★◆
9/1	THU	4・7 か月児健診 (R4年4・R4年1月生)	♡

●イコーゼ ●やすらぎ園 ◎休日当番医

◆母子手帳交付・すくすくの日

【子育て支援センター】：イコーゼ 10:00～11:30

♡ベビールーム (1か月～1歳5か月ごろのお子さんと保護者)

★キッズひろば (1歳6か月ごろ～就園前のお子さんと保護者)

▶「すくすく」(☎582-6045)へ事前に予約してください。

✂️集団接種日 (ファイザー) ✂️集団接種日 (モデルナ)

※接種会場は「やすらぎ園」です。

管理栄養士のおすすめレシピ

トマトとかじきのおかずサラダ

塩分
1.4g

■材料 (4人分)

トマト	3個
かじき	4切れ
玉ねぎ	1/2個
ピーマン	2個
「A」	
オリーブ油	大さじ2
酢	小さじ1
しょうゆ	小さじ1
「B」	
塩・こしょう	少々
水	2カップ
酢	大さじ2
塩	少々

【1食分の栄養価】 エネルギー 176kcal / たんぱく質 12.5g / 脂質 10.7g / カルシウム 13mg / 鉄 0.7mg / 塩分 1.4g

■作り方

- ① トマトは2cm角に切る。玉ねぎは横に薄切り、ピーマンは細切りにする。かじきは3cm角に切る。
- ② 大きめのボウルにAを混ぜ合わせ、玉ねぎを漬ける。
- ③ 鍋にBを煮立ててかじきを入れ、弱火で3～4分ゆでる。水気をふき、②に入れて5分ほどおく。
- ④ ③にトマト、ピーマンを加えて混ぜ、器に盛り付けて出来上がり。冷やしてもおいしい。

voice / おすすめポイント



酢の味でさっぱりといただける一品です。
夏バテしないようにたんぱく質をしっかりとりしたいと思います。

ともき
樋口みずほさん、知希くん

news

いきいき百歳体操参加者の体力測定

いきいき百歳体操参加者を対象に体力測定を行いました。感染予防に気をつけながら、握力測定や片足立位テストなどに取り組みました。保健師による「血圧」をテーマにした健康講話も開かれ、学びを深めました。



生涯学習だより

貴重な現場の裏側を見る 旧伊達郡役所工事見学会

国指定重要文化財旧伊達郡役所の工事現場見学会が6月26日、現地で開かれ、参加者は本町のシンボルである同所の歴史と価値を改めてかみしめました。

見学会には、町内外から約40人が参加。町主任学芸員から工事の概要の説明を受けた後、実際に建物に入り、塗り直されている漆喰壁^{しっくい}などを見学しました。参加者からは「貴重な姿を見学できた」「古い建物の造りが見られて感動した」などの感想が寄せられました。

この工事は、昨年と今年に発生した福島県沖地震により被災した箇所の災害復旧事業と、経年劣化による保存修理事業を併せた工事です。

今後も、進捗状況を見て、見学会を企画しますので、ぜひご参加ください。



1 工事中の外観を眺めながら、担当者から説明を受ける参加者
2 内観の漆喰壁の塗り直し状況を説明



自作の紙ヒコーキ こおりキッズスクール

立体紙ヒコーキ作りが6月26日、イコーゼで開かれ、小学生親子21人が紙ヒコーキづくりに挑戦しました。紙ヒコーキ研究家の小島貢一さんを講師に迎え、講座用のオリジナルモデルを作成しました。台紙のパーツに折り目をつけ、切り離し、接着して作る紙ヒコーキ。少し難しい作業もありましたが、集中して取り組み、完成させることができました。

最後に、全員で飛距離を競い合い、自分で作った紙ヒコーキを飛ばして楽しみました。



災害、万々に備える こおり成人講座

避難所開設体験講座が7月6日、イコーゼで開かれ、参加者13人が災害時のテント設営などについて学びました。避難所で実際に使われる個室型テントや段ボールベッドの組み立てを体験。参加者からは「段ボールベッドは意外と丈夫」「エアベッドを重ねればなお良い」などの意見がありました。また、避難所に何が準備されているかを把握することで、自分で準備する物を知ることができ、改めて災害時の心の備えができた講座でした。



ギフトに彩りを ラッピング講習会

一般成人講座「ラッピング講習会」が7月13日、睦合公民館で開かれました。町内にあるPOPセンター福島^{POPセンター}の佐藤淳子さんを講師に迎え、参加した6人がラッピングの基本について学びました。

大小2つの箱を参考にしながら、ラッピングする箱の大きさに合わせて切った包装紙で包み、続けてリボンのかけ方や飾り方を学びました。

実演を交えながら、丁寧に作業をする参加者。全員がきれいに仕上げることができました。

図書だより

園遊学館「よも～よ」 ☎ 582-5388

➤ 釧路中学校 2 年生が選ぶ 今月のおすすめ

6月28日と29日、よも～よの職場体験で、おすすめの本を選びました。ぜひ手に取ってみてください。

■茶畑のジャヤ

中川なをみ：著（すずき出版）



学校で孤立してしまった周が、学校を休んでおじいちゃんとスリランカに行って、個性豊かな人々に出会い…。周がスリランカの人と出会い、だんだん心変わりしていく所がおすすめなので、読んでみてください。

紹介者：齋藤 結愛さん

■麦本三歩の好きなもの

住野よる：著（幻冬舎）



麦本三歩という人間がいる。周りの人達から、ぼうっとしている、食べすぎ、おっちょこちょい、間抜けと言われる三歩。そんな三歩が、特別でもない出来事を明るく楽しく前向きに考え、読んでいると、げんきになれるおはなしです。

紹介者：丹野 まどかさん

■ふしぎ駄菓子屋銭天堂8

廣嶋玲子：作（偕成社）



銭天堂のお話の中でもハラハラ・ドキドキ?! 鳥かごの中から、出てきたよども。頭を冷やしてきたと思ったら…また勝負をいどむ。おかしを買った人の出来事や、よどもと紅子さんの勝負の結果が知れてドキドキします。

紹介者：佐藤 彩花さん

■巣箱のなかで

鈴木まもる：作・絵（あかね書房）



ぼくは、まいとし家のまわりの木に巣箱をつけています。ある日、からっぽの巣箱のなかをのぞくと…。シジュウカラのヒナたちの生長が分かりやすく、読みやすく書いてあるおはなしです。

紹介者：宮崎 千花さん

掲示板

園教育文化課
☎ 582-2403

町へ寄贈された福島大学名誉教授・故蜂谷剛氏の昆虫標本コレクションを、夏休み期間中に無料展示しています。

子どもに人気のカブトムシや、海外の珍しい蝶などの標本に加え、ぬり絵やクイズなども楽しめます。夏休みの自由研究にもおすすめです。

■期間

8月21日(日)まで
9:00～21:00（日曜日 17:00 まで）

■場所

イコーゼ 2階
キッズランニングコース
園教育文化課 生涯学習係 ☎ 582-2403

マルベリーこおり

園マルベリーこおり事務局 ☎ 582-3129

参加者募集

脳トレ×運動で認知症予防！ ライフキネティック教室

毎回楽しく脳と体を鍛える笑いの絶えない教室です！

■活動日 毎週火曜日 10:00～11:30

■場 所 町民体育館

※8月中はイコーゼに変更

■参加費 1回 会員100円／未会員200円

ヨガ教室

身体機能の回復や呼吸法、瞑想法など、誰でも無理なく行えるヨーガ療法です！

■活動日 毎週火曜日 19:00～20:30

■場 所 桑折公民館

■参加費 1回 会員500円／未会員700円



KAMEOKA
SYOUTA

いつかはイギリスやアメリカに留学し、本場で生活してみたいです。

わたしの夢

Dreams come true.

日本の魅力を世界中の人へ

亀岡 翔大^{しょうた}さん（醸芳中3年生）

わたしの夢は、日本の良き文化を世界中の人々に広め、伝えていくことです。中学生になり、本格的に英語の授業が始まったことで、英語に興味が湧いてきました。

最近は、独学で、洋書や洋楽を翻訳しています。人種や言葉が違う中で、作者の思いやその国の文化などを知ることができて感動しています。また、日常会話を学べるサイトなどを見て、日々英語に慣れるようにしています。英語を身につけ、大好きな日本文化を自分の言葉で世界中に伝えていきたいです。まずは、国際科などの英語をより深く学べる高校へ進学し、さまざまな国の文化に触れてみたいです。

こおりスマイル You have a good smile.



遠藤
杏南^{あんな}
ちゃん

いっぱい食べて、元気に育ってね ママより♡



東
遼泰^{はるやす}
くん

いっぱい遊んで、元気に育ってね ママより♡



安齋
舞海^{まいか}
ちゃん

いっぱい笑って、元気に育ってね！ パパより💙

町民の皆さんの笑顔の写真を募集します。年齢は問わず、赤ちゃんから学生さん、大人の方まで大歓迎！
①最近撮影した写真 ②氏名（ふりがな）・性別 ③メッセージ（20字程度）を記入して応募してください。
【応募先】総合政策課 ✉ seisaku@town.koori.fukushima.jp QRコードから簡単にメール送信できます。



広 告

まちのお知らせ

Town information.

来庁せずにマイナンバーカードが申請できます

マイナンバーカード出張申請受付

役場職員が、職場や町内会館、ご自宅などを訪問し、マイナンバーカードの申請をサポートします。完成したカードは自宅へ郵送されるため、役場に取りに行く必要がありません。

■対象

企業や団体、ご家族、友人同士
(人数の制限はありません)

■対応日時(原則)

平日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 16:30 分の間
で希望する時間

■お願い

申込者自身において、会場の手配や申請者の
取りまとめ、申請書の配布、広報周知をお願い
します。

■申し込み・問い合わせ

税務住民課 住民国保係 ☎582-2114

令和4年度 自衛官募集 募集人員・試験内容など、詳細は問い合わせください。

募集種目	資 格	受付期間	試験期日
航空学生	高卒(見込含) 空:21歳未満 海:23歳未満	7月1日~9月8日	1次 9月19日 2次 10月15日~20日 3次 11月18日~12月14日(海) 11月12日~12月15日(空)
一般曹候補生	18歳以上 33歳未満	7月1日~9月5日	1次 9月15日~18日 2次 10月8日~23日
自衛官 候補生		年間を通じて実施	受付時または各自衛隊地方協力本部のホーム ページにてお知らせします。

自衛隊福島地方協力本部 福島募集案内所 ☎545-7995

広 告

広 告

広 告

広 告

みんなのSDGs

町の発展に向けた取り組みを

地域の皆さんとともに

福島信用金庫 桑折支店の皆さん

福島信用金庫 SDGs活動方針

1 地域経済

- ・経営支援、創業支援
- ・地域創生支援ローン など

2 地域社会

- ・特殊詐欺防止への取り組み
- ・地公体との包括連携協定の締結 など

3 地域環境

- ・地球温暖化防止対策推進の「福島議定書」への参加
- ・ペーパーレス化への取り組み など



ふくしんSDGs
サポートローン

エコカーに買い換えるなどの、SDGsの
取り組みを行う事業者向け融資を創設
し、地域全体をサポートしています。

令和2年4月、県内にある8つの信用金庫は、SDGsを推進する地域社会の一員として、県内の地域経済の持続的発展に取り組むことを目指す「共同宣言」を行いました。3つの活動方針と11のゴールを設定し、さらなる地域の発展を目指して活動しています。

「共同宣言」の翌年には、福島信用金庫と三井住友海上、そして町の3者間で「地方創生SDGsに関する包括協定」を締結し、住民が住み続けられる魅力ある町づくりを実現する力強いパートナーシップを確立しました。

桑折支店では、経営支援はもとより、特殊詐欺防止活動、地球温暖化防止対策推進の「福島議定書」への参加など、さまざまな活動に尽力しています。今後は、SDGs推進企業を支援する「町SDGs登録認証制度」を、町と協力して推し進め、登録事業者を増やしていきたいと話す秋葉一彦桑折支店長。
町民や町内事業者と関わりの深い桑折支店の職員の皆さんから、SDGsの輪が広がっています。

【編集後記】

▶町産食材学活用校給食提供事業で試食をしました。ロイヤルピーチポークは肉厚でも柔らかく、野菜はシャキッと甘く、町産食材の「おいしい」を存分に味わうことができました。伊達崎小5年生によるオリジナルピザ開発でも町産食材をフル活用。どんなメニューにもマッチする町の食材の魅力を改めて感じました。小さいころに食べた給食などの記憶は、大人になっても覚えているものです。今回の体験で郷土愛が育まれれば良いかと期待しています。

◆人口（前月比）7月1日付

人口	計	11,316人	(-18)
※住民基本台帳/外国人含む	男	5,491人	(+1)
	女	5,825人	(-19)
世帯数		4,605世帯	(+3)
転入	21人	出生	3人
転出など	21人	死亡	21人

◆今月の納税

- ・町県民税（普通徴収2期）
- ・国民健康保険税（普通徴収2期）
- ・介護保険料（普通徴収2期）
- ・後期高齢者医療保険料（普通徴収1期）

期限 **8月31日**迄

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付/印鑑登録/マイナンバーカード交付など窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※**当日午後5時**までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。